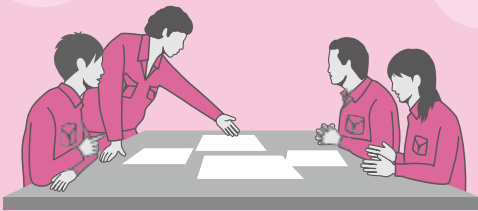


小集団活動で

職場活性化



住友重機械マリンエンジニアリング(株)
製造本部 主管(安全担当)

児玉 猛

第1回

安全文化の ものさしは？

H	一人KY	Hitori K Y
S	相互注意	Sougo chuui
A	ありがとう	Arigatou

これが現場にいくつ花開いているか？ そんなものさしが安全文化の醸成を測るために必要です。

図1 HSAとは

形を変えて脈々と続く 小集団活動

昭和40年代に、「ZS運動（全員参加、または全員参画運動）」と呼ばれた小集団活動が多く、事業場で展開されていました。

今でも、同じような小集団活動が形を変えて展開されていることは、これらの活動が職場の活性化に大きな役割を果たしていることの証明だと思います。

「安全衛生のひろば」では今回から1年にわたり「小集団活動で職場の活性化」をテーマに連載を行うこととなり、その大半を、私が執筆させていただき

安全文化のものさしは？

連載の初めに、こんなテーマから話を始めたいと思います

HSE (Health, Safety & Environmental) Management System

海洋安全の世界に、HSEマネジメントシステムという安全管理の仕組みがあります。これをもじって、私が「安全文化のものさしHSA」という提案をしたことがあります(図1)。

これからの時代に、
・労働安全衛生マネジメントシステムにしっかりと取り組んでいる
・リスクアセスメントも全員の力で成果を出している

そんな事業所の究極の目標として、
「安全文化の醸成」

を掲げる事業所が増えてくると思います。しかし、安全文化の花が開いた数、つまり「目標値」は、現場では何で測ればいいのか？

一人KYができて初めて

「KY（危険予知）をやっていますか？」と問われて、「うちの職場では全てのグループが朝、KYミーティングをキチンとやっています」と誇らしげに答える課長さん。

「朝のKYミーティング」なんて、単なる練習じゃありませんか？ 職場で一人になっても、ひとつひとつの作業で危険予知をやっていますか？

「一人KY」ができて初めて危険予知なのです。一人になっても危険を予知して、指差し呼称で確認する。これが「一人KY」なのです。

それでは次に、皆さんの職場で一番小さいパトロールは何ですか？（図2）



整理 ・ 整頓
清掃 ・ 清潔
しつけ

目の前に発生した
リスクを回避できる
一番有効な手段です。

相互注意 ← 一番小さなパトロール でも

図2 一番小さなパトロールの意義



こだま たけし

1971年 住友重機械工業(株)入社。新造船関係などの業務を経て、1997年より横須賀製造所、千葉製造所などで安全衛生業務に従事。2005年より住友重機械工業(株)本社 安全衛生担当部長を歴任後、2014年7月より現職。

皆さんの職場ではパトロールの指摘を受けて

ありがとうございます

と言えますか？

こんな話を次回から掲載していきます。

